

# 地震から命を守るために

～支援から見えた必要な備え～



## 大切な命のために今できることを

1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震。自衛隊や行政機関などが被災地に入り、支援活動が行われています。本市からは危機管理課職員2人を、石川県能登町の災害対策本部に派遣しました（1月6日～10日）。大野城市でも、警固断層を震源とした大地震が起こる可能性があり、大きな被害を受けることが予想されています。災害対策本部の支援を通じて感じた被災地の現状と、「今」できる地震への備えについてお知らせします。

### 現地 避難所の状況

地震によって、能登半島の生命線となる「のと里山海道」や国道が寸断され、迂回路も渋滞。救助活動や支援物資の輸送に大きな支障が起きました。断水や停電、支援物資がなかなか届かない状況の中、避難所では、2つの課題が生じていました。

#### 食料の問題

1月6日時点では、国からのプッシュ型支援でにおにぎりやパンが届いていましたが、発災から1週間が経っても炭水化物ばかりでした。たんぱく質やビタミン、食物繊維などが不足すると、便秘や口内炎などの不調も起きやすくなります。

#### 【対策】 非常食として缶詰や野菜ジュース、サプリメントなど、栄養バランスを意識した食料の備蓄を各家庭で備えましょう。

#### トイレの問題

トイレが不衛生になると、さまざまな問題が起きます。

#### ◆トイレを控える行動

飲食を我慢するようになり、水分不足、エコノミークラス症候群や誤嚥（ごえん）性肺炎のリスクが高まります。

#### ◆感染症の発生

避難所などでは、ノロウイルス感染症が疑われる急性胃腸炎が発生しています。

【対策】 袋式の「携帯トイレ」などを、各家庭で備えましょう。